

平成30年度「みえ高校生県議会」質問内容と答弁の概要(平成30年8月21日開催)

環境生活農林水産常任委員会関係分

※答弁の概要には現状説明の部分は省略しています。

学校名	質問項目等	今後の対応等に関する答弁の概要	答弁した委員長
	<p>○自動車の利用とCO2削減について 自治体や道の駅とタイアップした訪問販売の拡大によりCO2の削減ができると思うが、いかがか。</p>	<p>・ご提案の取組にあたっては、住民ニーズがどこにあるかを把握し、研究していきたいと考えている。</p>	<p>廣委員長 (環境生活農林水産)</p>
津西高校	<p>公共発電自転車の開発と普及によりCO2の削減ができると思うが、いかがか。</p>	<p>・現在、自転車による発電はシンボリックな取組の一つに留まっているところなので、大規模発電による電気の大量消費から身近な小型発電による省エネへと県民意識の転換を促すことと併せて研究していきたいと考えている。</p>	<p>廣委員長 (環境生活農林水産)</p>
	<p>宅配サービスと旅客の乗降との両方の機能を併せ持つ小型バスの利用によりCO2の削減ができると思うが、いかがか。</p>	<p>・事業者間調整に一定の時間を要するので、直ちに実現できるというものではないが、環境負荷の低減や資源の有効活用という観点からも有益な取組であると考えており、今後も前向きに進めていくよう執行部に求めていきたいと考えている。</p>	<p>廣委員長 (環境生活農林水産)</p>
久居農林高校	<p>○三重県の「木育」施設について 従来の「森林公園」よりもっと安全で気軽に県民が利用できる「環境教育林」及び「森林学習施設」を設置してはどうか。</p>	<p>・林業研究所内には、身近な樹木を観察できる「樹木図鑑園」が設置され、平日は一般公開を行っている。 ・森林や環境保全を学べる施設が各地域に必要と考えており、安全で気軽に県民が利用できる森林環境教育の実験フィールドや常設型の木管体験施設を新たに整備することも、「みえ森づくりサポーター」を核として、各地域の施設とも連携しながら「森林環境教育」や「木育」の充実を図ってきたいと考えている。 ・本委員会でも、木や森林を学べる施設の充実や、「森林環境教育」「木育」のさらなる促進に向けて、しっかりと議論していきたいと考えている。</p>	<p>廣委員長 (環境生活農林水産)</p>

学校名	質問項目等	今後の対応等に関する答弁の概要	答弁した委員長
名張高校	○高齢者がいきいきと生活していくために、高齢者がいきいきと生活していただくために、どのような施策を行っているのか。	・高齢者が健康で生きがいをもって活躍し続けられるとともに、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる三重県を目指して、県ではダイバーシティ社会を目指す「ダイバーシティみえ推進方針」や人権施策を推進する「三重県人権施策基本方針」、高齢者を取り巻く課題に対応するための「みえ高齢者元気・かがやきプラン」を策定しており、市町をはじめ様々な関係者、関係機関・団体等と問題意識を共有し、連携・協働して、課題解決に向けて取組を推進していきたいと考えている。	廣委員長 (環境生活農林水産)
津高校	○三重県における国際交流の推進について JETプログラムによるALTの働き方について長期的なようを見据えた工夫の余地があるのではないか。	・制度自体の仕組みでは5年間となっているので、5年間ずっと続けてもらえるような取組が必要かと思っている。 ・5年の期間を終えて人がかわっていくというのも国際交流でのいろいろな方々との交流という部分では効果的だと思おうので、この5年間に有効に使えるような取組をしていきたいと思っている。	芳野委員長 (戦略企画雇用経済)
セントヨゼフ女子学園高校	○外国人の受け入れについて 地方創生の視点で外国人を受け入れることについて、どのような対策をとっているか。	・全国的に要望いただいているのは英語の授業で使われるので英語圏の12か国からくる人が一番多い。三重県はその英語圏の12か国の中の11か国の人をALTとして配置している中で、その中でしっかりとそれぞれ地域の特性を生かした英語教育をしてもらおうと思っている。 ・例えば病院に行った時の言葉が通じないための医療通訳の育成、配置や災害時の支援体制の整備、また消費者被害の防止事業など外国人住民の安全で安心な生活への支援を行っている。これらから国の方でも制度が大きく変わる可能性があり、県としてもそういう国の制度にのっとって、また適切な対応をしていきたいと思っている。	芳野委員長 (戦略企画雇用経済)
	異文化との交流を活かして、新たな観光資源を生み出すのはかなり長期的な視点が必要だが可能と考えるか。	・観光事業という側面も、確かに考えていけるのかなと思っており、永住者の外国人の皆さんと観光者として来られる外国人、両方にとって訪れやすい三重県をやっていくために、しっかりと取り組んでいきたいと思っている。	芳野委員長 (戦略企画雇用経済)